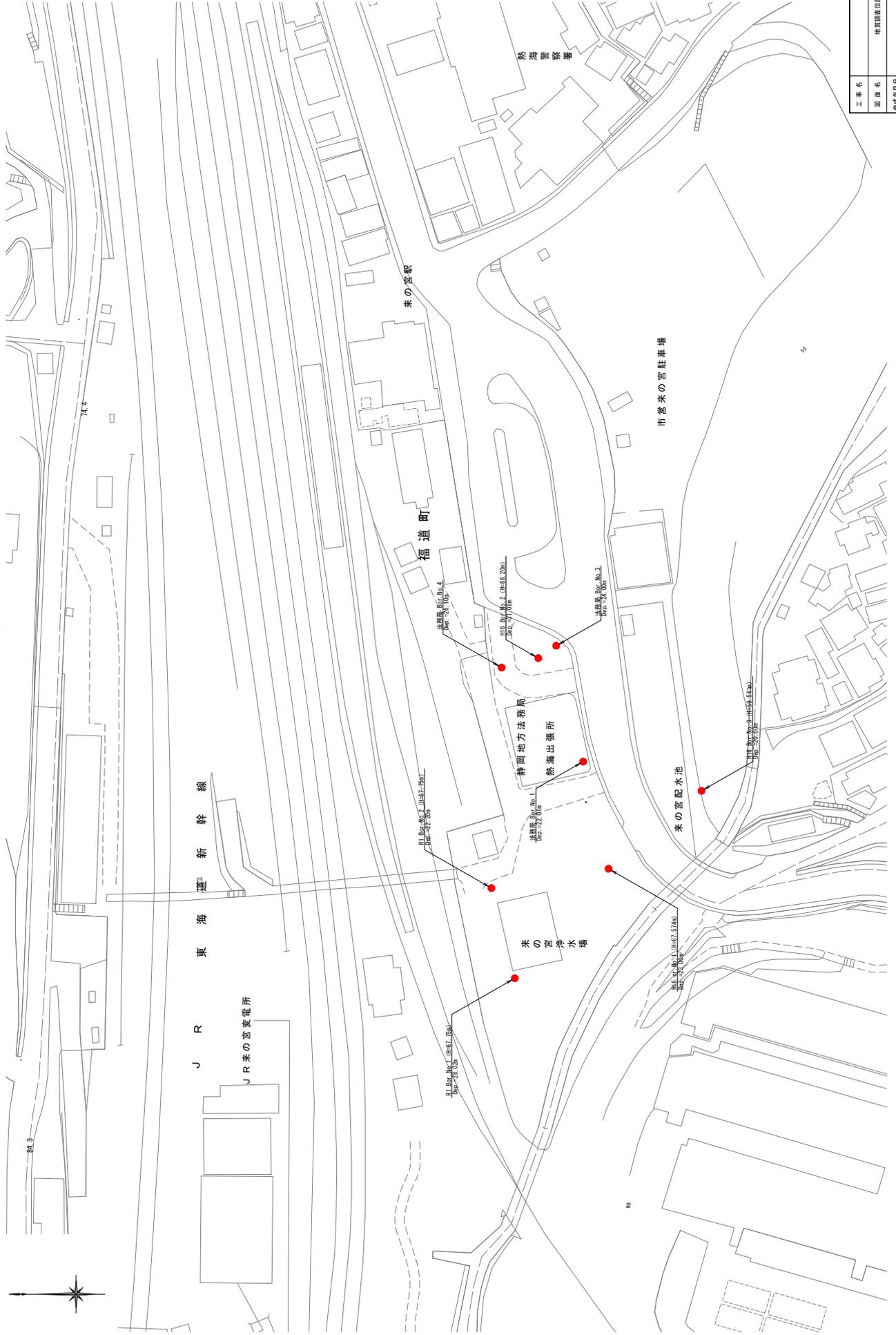


## 別紙 2 (土質資料)

# 地質調査位置図(周辺)

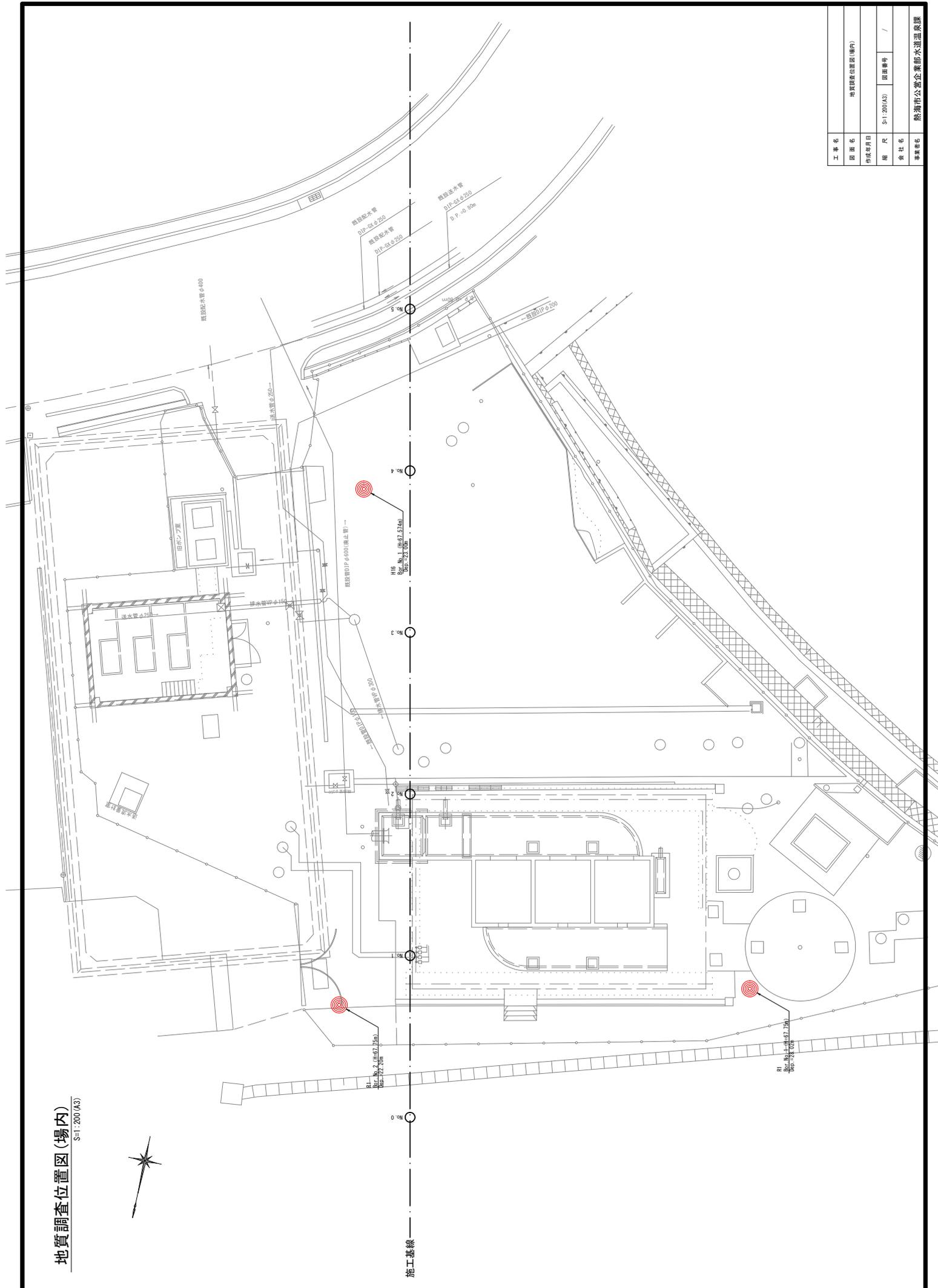
S-1/1,000(A3)



工事名	地質調査位置図(周辺)		
図面名			
作成年月日			
期 尺	S-1/1,000 (A3)	図面番号	/
会社名	熱海市公営企業部水道課		
製図者名			

地質調査位置図(場内)

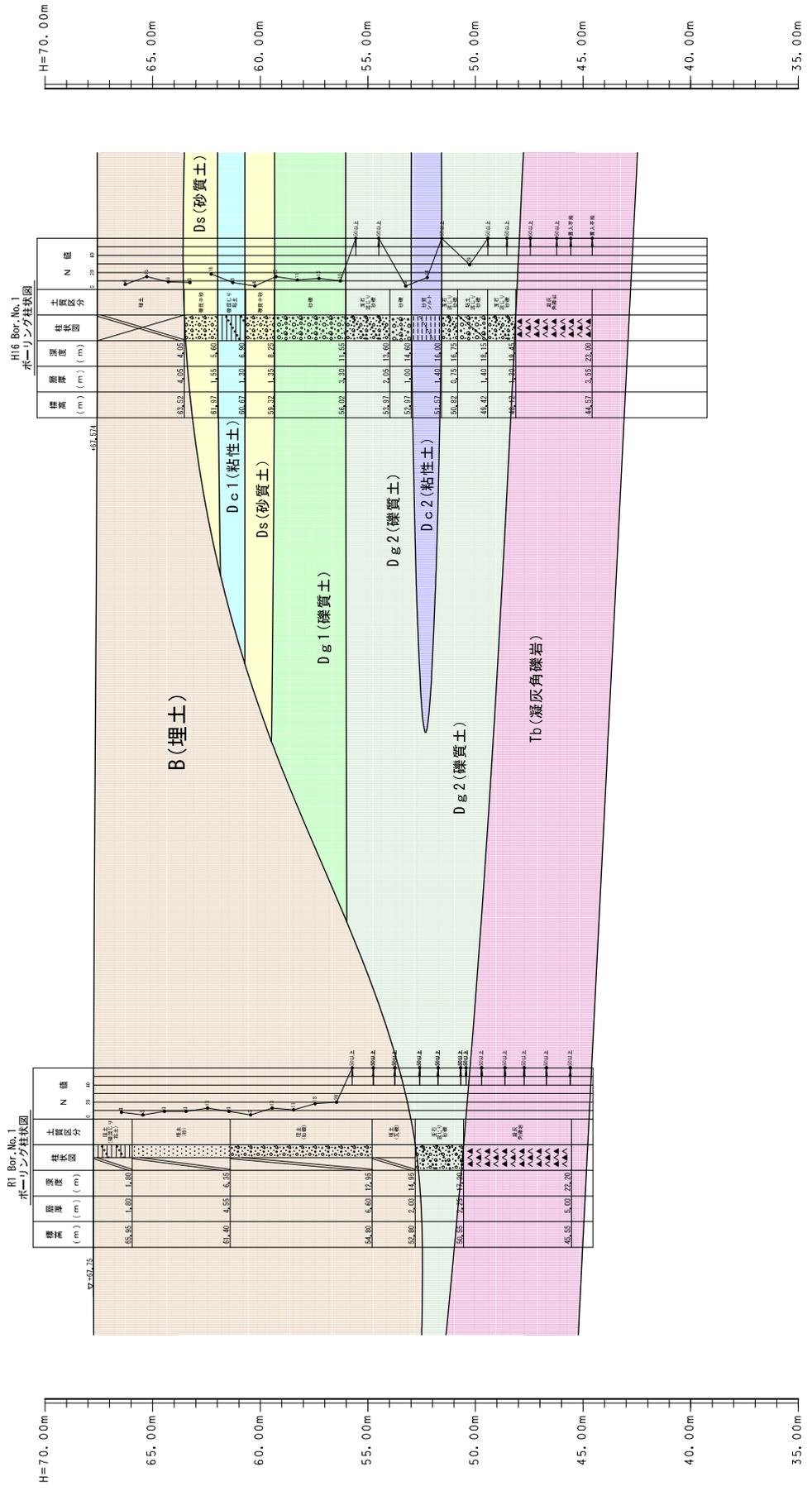
S=1:200 (A3)



工事名	地質調査位置図(場内)		
図面名	地質調査位置図(場内)		
作成年月日	/ /		
期	S-1.200(A3)	図面番号	/
会社名	熱海市公営企業部水道課		
製図者名	熱海市公営企業部水道課		

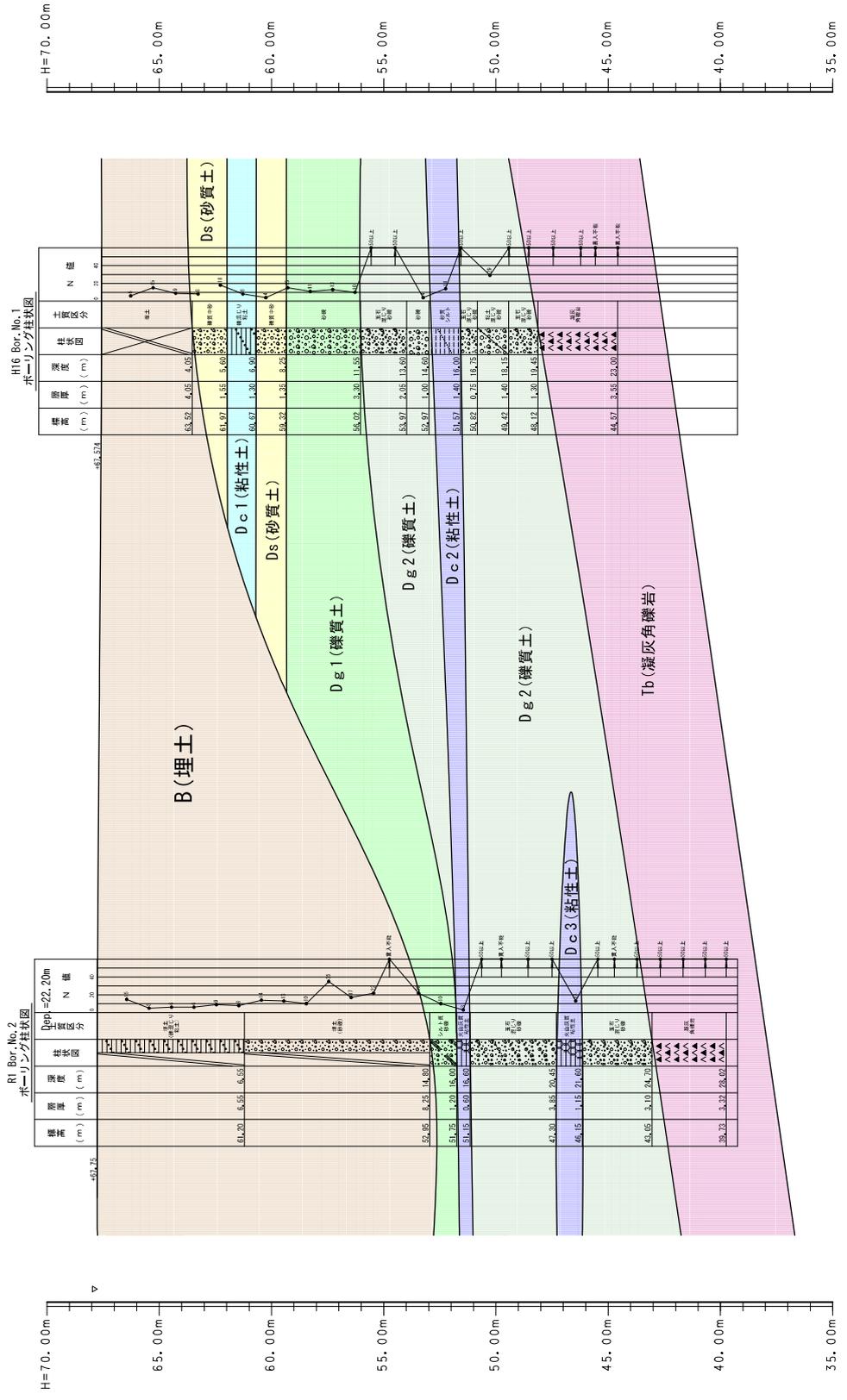
# 推定地質断面図

S = 1 : 200



# 推定地質断面図

S = 1 : 200





# 土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 来宮浄水場整備工事基本設計業務委託

事業・工事名

調査目的及び調査対象 上水道 構造物基礎

ボーリング名	Bor. No.1	調査位置	熱海市福道町地内	北緯	35° 05' 54.0900"
発注機関	熱海市	調査期間	令和元年12月 2日～ 令和元年12月 6日	東経	139° 03' 50.6000"
調査業者名	株式会社大場上下水道設計 電話 053-466-2100	主任技師	青島 地質調査士 登録番号:	コア鑑定者	秋本和也 地質調査士 登録番号: 第13427号
現 場	角 180° 上 90° 下 0° 度	方 向	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配	0 水平 0° 鉛直 90°
孔口標高	H=67.75m	使用機種	試錐機 KR-100	ポンプ	V5
総削孔長	22.20m	エンジン	NFAD-9EK		

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色相対対	相対密度	相対稠度	記 事	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験					試料採取		室内試験	削孔月日
											深度 - N 値 図					深 度 (m)	試 料 採 取 番 号		
												N	100mm毎の打撃回数	50回の貫入量	自沈時の貫入量				
												深 度 (m)	0	100	200	300	貫入量	深 度 (m)	試 料 採 取 番 号
1	65.95	1.80	埋土 (硬混じり粘土)	埋土 (硬混じり粘土)	暗茶褐	rd3			φ20mm以下の角～歪角礫を混えるローム質土。GL-0.2～0.7m間コンクリートガラが混入がやや多い。最大混入粒径はコア長にてL=100mm。GL-1.85mL=100mのコンクリート塊混入。	12/3	1.15	1	3	4	8	1.15	1-1	○	
2					暗茶灰	rd2		スコリア質の中～粗砂を主体とする。ロームおよびφ20mm以下の角礫混入がみられるが、GL-2.7m～4.75m間はローム分、細分の混入が少ない。露削時は、GL-4.0mまで極めて激しい逸水がみられたが、GL-4m以深は15～20リットル/m程度の逸水であった。含水は中ぐらい。	12/3	2.15	1	2	2	5	2.15	1-2	○		
3					暗茶灰	rd2				12/3	3.15	3	3	3	9	3.15	1-3	○	
4					暗茶灰	rd2				12/3	3.45	3	2	4	9	3.45	1-4	○	
5					暗茶灰	rd2				12/3	4.15	3	2	4	9	4.15	1-5	○	
6	61.40	6.35	埋土 (砂)	埋土 (砂)	暗茶灰	rd2				12/3	4.45	4	4	5	13	4.45	1-6	○	
7					茶褐	rd3				12/3	5.15	4	4	5	13	5.15	1-7	○	
8					茶褐	rd3				12/3	5.45	3	2	4	9	5.45	1-8	○	
9					茶灰	rd3				12/3	6.15	3	2	4	9	6.15	1-9	○	
10					茶灰	rd3				12/3	6.45	2	1	2	5	6.45	1-10	○	
11					赤褐	rd3				12/3	7.15	4	5	4	13	7.15	1-11	○	
12					赤褐	rd3			GL-10.9m以深は砂分や多くなりGL-12.25～12.5m間は砂主体。	12/3	7.45	5	4	4	13	7.45	1-12	○	
13	54.80	12.95	埋土 (瓦礫)	埋土 (瓦礫)	暗灰	rd5			コンクリートであるが、棒状コアよりも柱状コアとして採取されるものが多い。GL-13.5mまでは不片の混入もみられる。逸水が極めて激しい状況である。	12/3	8.15	4	5	4	13	8.15	1-13	○	
14					暗灰	rd5				12/3	8.45	3	3	5	11	8.45	1-14	○	
15	52.80	14.95	玉石混じり砂	玉石混じり砂	暗灰	rd5				12/3	9.15	3	3	5	11	9.15	1-15	○	
16					暗灰	rd5				12/3	9.45	7	5	6	18	9.45	1-16	○	
17	50.55	17.20	凝灰角礫岩	凝灰角礫岩	暗灰	rd5			GL-10.9m以深は砂分や多くなりGL-12.25～12.5m間は砂主体。	12/3	10.15	7	6	7	20	10.15	1-17	○	
18					暗灰	rd5			φ30mm以下の角礫を主体とする。マトリックスは砂。礫は固相長L=50～140mmまでのものを多く含み、最大粒径はコア長にてL=150mm。GL-16.1m付近では150%程度、GL-17.2m付近では60～70%程度の逸水がみられた。含水中ぐらい～やや多い。なお、GL-15.2m以深はローム分多い。	12/3	10.45	5	5	5	10	10.45	1-18	○	
19					暗灰	rd5			逸灰～凝灰岩を呈し、所々で風化による砂粒状～細粒化がみられ、採取試料は指圧および打撃により容易につぶすことができるところがある。	12/3	11.15	6	7	7	20	11.15	1-19	○	
20					暗灰	rd5			GL-19.15～20.0m間のコアとしての採取は合計500mm。GL-20～21m間のコアとしての採取は合計750mm。GL 21.0～22.2m間のコアとしての採取は合計350mm。なお、採取コアはハンマーの打撃によっても容易に割ることができないものが多い。	12/3	11.45	5	5	5	10	11.45	1-20	○	
21					暗灰	rd5				12/3	12.03	50	50	50	10	12.03	1-21	○	
22	45.55	22.20			暗灰	rd5				12/3	12.04	10	10	10	10	12.04	1-22	○	
23										12/3	13.00	貫入不能	50	0	0	13.00	1-23	○	
24										12/3	14.00	貫入不能	50	0	0	14.00	1-24	○	
25										12/3	15.15	50	50	70	15.15	1-25	○		
										12/3	15.22	70	70	70	15.22	1-26	○		
										12/3	16.01	貫入不能	50	0	0	16.01	1-27	○	
										12/3	17.06	貫入不能	50	0	0	17.06	1-28	○	
										12/3	17.37	20	20	120	17.37	1-29	○		
										12/3	18.01	50	50	50	18.01	1-30	○		
										12/3	18.06	50	50	50	18.06	1-31	○		
										12/3	19.08	50	50	60	19.08	1-32	○		
										12/3	19.15	60	60	60	19.15	1-33	○		
										12/3	20.00	50	50	20	20.00	1-34	○		
										12/3	20.02	20	20	20	20.02	1-35	○		
										12/3	21.02	50	50	50	21.02	1-36	○		
										12/3	21.07	50	50	50	21.07	1-37	○		
										12/3	22.11	50	50	90	22.11	1-38	○		
										12/3	22.20	90	90	90	22.20	1-39	○		

# 土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調 査 名 東宮浄水場整備工事基本設計業務委託

事 業 ・ 工 事 名

調査目的及び調査対象 上水道 構造物基礎

ボーリング名	Bot. No. 2	調査位置	熱海市福道町地内	北 緯	35° 05' 54.2500"
発注機関	熱海市	調査期間	令和元年12月 7日～ 令和元年12月14日	東 経	139° 03' 51.4900"
調査業者名	株式会社大場上下水道設計 電 話 053-466-2100	主任技師	青島 崇賢 技師 登録番号: 〇〇〇〇	現 場 代 理 人	秋本和也 技師 登録番号: 第13427号
孔口標高	H=67.75m	角	180° 上 下 0°	方 向	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°
総削孔長	28.02m	度	0°	地 盤 勾 配	0° 水平 0°
試験機	試錐機 KR-100	エンジン	NFAD-9EK	ポンプ	V5

標 尺	標 高	深 度	現場土質名(模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色 相	相 対 密 度	相 対 稠 度	記 事	孔内水位/測定月日	標準貫入試験						試料採取	空 内 試 験	削 孔 月 日			
											深度-N値図									深 度	深 度	深 度
1			暗茶褐						表面9cmコンクリート、以深0.25mまでφ40mm以下の角～亜円礫を主体とする砂礫。		1.15	2	1	12	15	1.15	2-1	○				
2			茶褐					rc3	以深含水中ぐらい、粘性中ぐらいのローム質粘性土によるが、所々でφ20mm以下の角～亜角礫の混入がみられる。混入する礫は最大粒径として、1.70mφ。また、所々で砂分の多いところもみられる。		1.45					1.45						
3			暗灰褐						掘削時には20～30%/mの逸水がみられた。色調は暗茶褐～茶褐～暗赤灰～暗灰褐と変化に富んでいる。		2.15	1	2	2	5	2.15	2-2	○				
4			暗灰褐								2.45					2.45						
5			暗灰褐								3.15	2	3	1	8	3.15	2-3	○				
6			暗灰褐								3.45					3.45						
7			暗灰褐								4.15	2	2	2	6	4.15	2-4	○				
8			暗灰褐								4.45					4.45						
9			暗灰褐								5.15	3	3	3	8	5.15	2-5	○				
10			暗灰褐						φ30mm以下の角礫を主体とする砂礫。マトリックスは粘性土～砂によるが、不均質で、粘性土分の多いところ、砂分の多いところもみられる。掘削後5.0～70mm程度の塊は0L-8.8m以深、0L-12.85m以深にみられ、最大粒径はコア長にてL=200mm。		5.45					5.45						
11			暗赤灰								6.15	2	3	3	8	6.15	2-6	○				
12			暗赤灰								6.45					6.45						
13			暗赤灰								7.15	4	5	5	14	7.15	2-7	○				
14			暗赤灰								7.45					7.45						
15			暗赤灰								8.15	4	4	5	13	8.15	2-8	○				
16			暗赤灰								8.45					8.45						
17			暗赤灰								9.15	3	3	4	10	9.15	2-9	○				
18			暗赤灰								9.45					9.45						
19			暗赤灰								10.15	13	17	5	35	10.15	2-10	○				
20			暗赤灰								10.45					10.45						
21			暗赤灰								11.15	5	7	5	17	11.15	2-11	○				
22			暗赤灰								11.45					11.45						
23			暗赤灰								12.15	7	7	0	22	12.15	2-12	○				
24			暗赤灰								12.45					12.45						
25			暗赤灰								13.00	貫入不能	0	0	0	13.00	2-13	○				
26			暗赤灰								14.15	8	9	5	22	14.15	2-14	○				
27			暗赤灰								14.45					14.45						
28			暗赤灰								15.15	3	3	4	10	15.15	2-15	○				
29			暗赤灰								15.45					15.45						
30			暗赤灰								16.15	1	1	1	3	16.15	2-16	○				
31			暗赤灰								16.45					16.45						
32			暗赤灰								17.05	37	13	50	130	17.05	2-17	○				
33			暗赤灰								17.18					17.18						
34			暗赤灰								18.00	貫入不能	0	0	0	18.00	2-18	○				
35			暗赤灰								19.15	50		50	60	19.15	2-19	○				
36			暗赤灰								19.21	60		60		19.21						
37			暗赤灰								20.15	26	24	50	200	20.15	2-20	○				
38			暗赤灰								20.35					20.35						
39			暗赤灰								21.15	5	4	4	13	21.15	2-21	○				
40			暗赤灰								21.45					21.45						
41			暗赤灰								22.15	12	22	16	50	22.15	2-22	○				
42			暗赤灰								22.43					22.43						
43			暗赤灰								23.03	貫入不能	0	0	0	23.03	2-23	○				
44			暗赤灰								23.03					23.03						
45			暗赤灰								24.04	貫入不能	0	0	0	24.04	2-24	○				
46			暗赤灰								24.04					24.04						



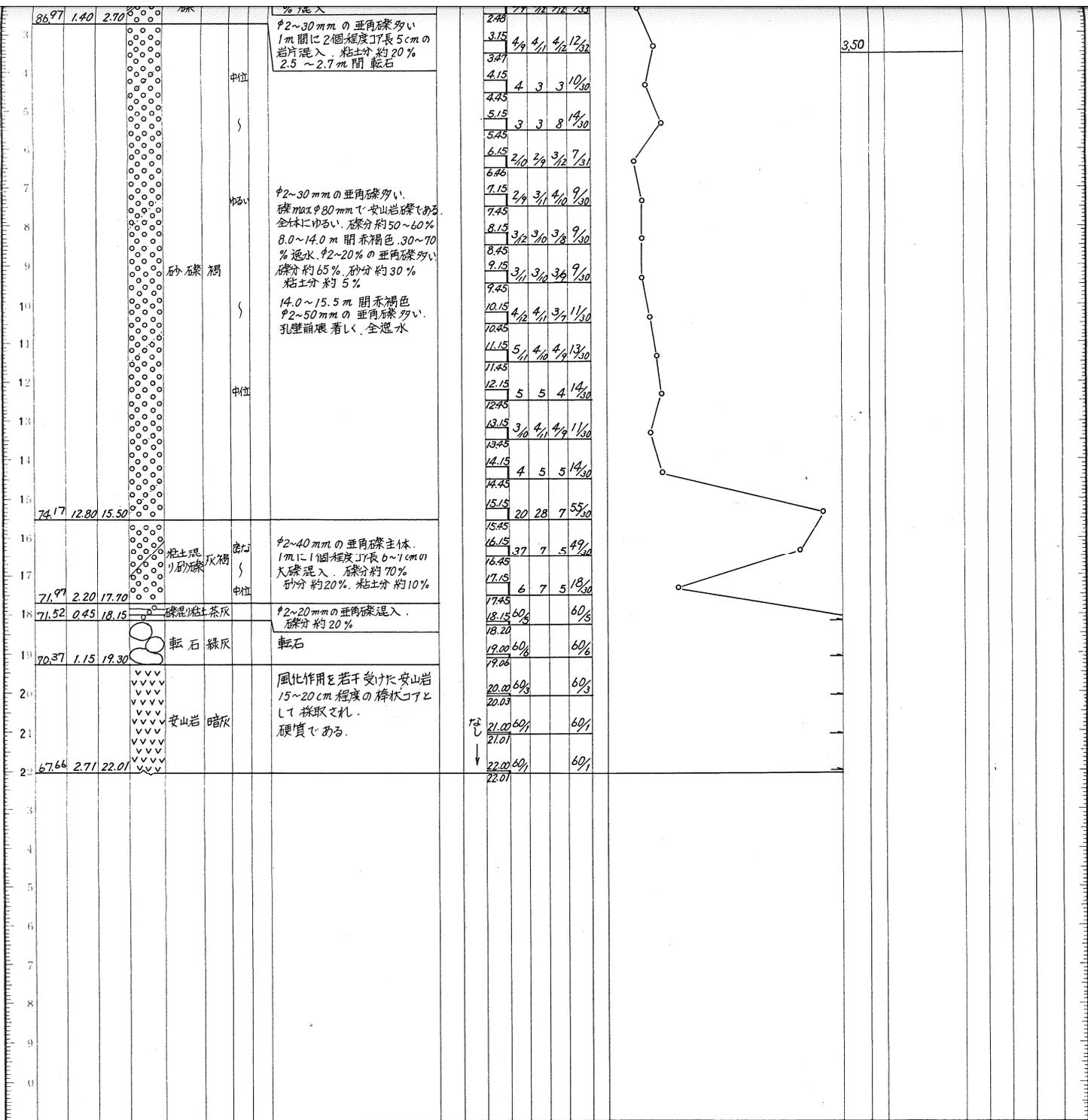


発注機関	熱海市公営企業部 水道温泉課			調査期間	平成 16年 10月 16日 ~ 19年 月 日		東 経
調査業者名	株式会社日本水道設計社 電話 (03-3292-8435)		主任技師	伊東 義和	現代 場人	小笠原 邦夫	コ 鑑 定 者
孔口標高	H=	角	180°	方	北 0°	地盤勾配	鉛直 90°
総掘進長	68.200m	度	上 90°	向	西 270°	使用機種	使用機種
			下 0°		東 90°	エンジン	エンジン
						YBM-05DA-2	ハンマー 落下用具
						KUBOTA EA10-V	ポンプ
							半自動落下装置
							YBM GP-5

標尺 (m)	層厚 (m)	深 度 (m)	柱 状 図	土 質 区 分	色 調	相 対 密 度	相 対 稠 度	記 事	標準貫入試験				原 位 置 試 験	試 料 採 取	室 内 試 験	掘 進 月 日	
									深 度 (m)	10cmごとの 打撃回数	打撃回数/貫入量 (cm)	N 値					
1				埋 土	褐			礫混じり粘土(ローム質) 全体に礫径φ10~30mm円礫、亜円礫混入 所々径φ80~100mm角~亜角礫や 岩地混入	1.15	2	2	1	5				
2								2.70~3.30mは礫優勢	1.45	11	13	6	30				
3	64.90	3.30	3.30						2.16	2	2	1	5				
4				礫質中砂	暗褐		中位~緩い	礫は径φ2~10mmの亜円礫主体 所々50mmの角礫混入 所々礫混じりシルトの偽礫混入 含水量少ない 全体にスコリア質 5.00m付近は礫質シルト少量混入 6.00m付近より赤色を帯び、礫率 が高くなる	2.51	12	13	11	36				
5									3.15	2	4	1	7				
6									3.46	16	4	1	5				
7									3.46	8	3	3	14				
8	60.10	4.80	8.10						4.15	8	3	3	30				
9				礫混じり粘土	黄褐		中位	礫は径φ1~20mmの礫である 粘性中位 8.30~8.45m径φ150mm位の玉石混入	4.45	12	3	2	8				
10	59.30	0.80	8.90						8.45	12	3	2	8				
11				砂 礫	赤褐		中位~緩い	含水量少ない 礫径φ10mm位の亜角~亜円礫主体 最大礫径φ50mm 砂は中砂主体 全体にスコリア質	9.15	4	3	4	11				
12	57.30	2.00	10.90						9.46	11	3	4	11				
13	57.00	0.30	11.20						10.15	2	2	2	6				
14				礫混じり粘土	褐			粘性中位~多い 全体にローム質 所々黒灰色の有機質粘土挟む 礫は径φ10~20mmの角~亜円礫である	10.46	11	3	4	11				
15									11.15	4	3	4	11				
16				粘土混じり砂礫	暗灰		中位~非常に密な 中位~非常に	礫径φ2~20mm角礫~亜角礫主体 含水量少ない 逸水あり 12.60m付近、13.20m付近、15.20 ~15.40m礫径φ40~50mm礫混入	11.45	4	4	4	12				
17									12.15	4	4	4	12				
18									12.45	6	4	3	13				
19	49.25	7.75	18.95						13.15	6	4	3	13				
20				礫混じり粘土	褐			粘性強い 上部はローム質 礫は径φ2~20mmの亜円~亜角礫 主体 粗砂多量混入 19.90~20.45m礫、粗砂多量混入	13.48	3	6	5	14				
21	47.75	1.50	20.45						14.15	3	6	5	14				
22									14.45	8	6	36	50				
23									15.15	8	6	36	50				
24				玉石混じり砂礫	暗灰~褐灰		非常に密な	16.00m付近、礫径φ30mm位の礫多 量混入 16.50~17.00m礫率低い 17.10~17.25m玉石混入	15.43	6	6	7	19				
25									16.15	6	6	7	19				
26									16.45	50	50	50	50				
27									17.10	2	2	2	2				
28									17.12	17	12	2	750				
29									18.15	6	5	4	15				
30									18.45	6	5	4	15				
31	37.12	10.63	31.08						19.15	7	3	2	12				
32									19.45	4	6	4	14				
									20.15	4	6	4	14				
									20.45	50	50	50	50				
									21.15	2	2	2	2				
									21.17	50	50	50	50				
									22.10	2	2	2	2				
									22.12	50	50	50	50				
									23.05	2	2	2	2				
									23.07	50	50	50	50				
									24.15	50	50	50	50				
									24.33	18	18	18	83				
									25.15	50	50	50	50				
									25.31	16	16	16	94				
									26.05	50	50	50	50				
									26.08	3	3	3	500				
									27.10	50	50	50	50				
									27.11	1	1	1	1				
									28.05	50	50	50	50				
									28.13	8	8	8	188				
									29.00	21	29	4	50				
									29.14	4	4	4	107				
									30.00	貫入不能	貫入不能	貫入不能	貫入不能				
									31.05	50	50	50	50				
									31.08	3	3	3	500				







〈凡例〉

柱状図および土質区分

第1分類

区分	分類名	図様
土質	礫 (G)	○
	礫質 (HGF)	○
	砂 (S)	●
	砂質土 (SF)	●
	シルト (M)	---
	粘性土 (C)	—
	有機質土 (O)	■
	火山灰質粘性土 (V)	■
高有機質土 (腐植土) (PO)		■

第2分類

区分	分類名	図様
補助記号	砂質 (S)	○
	シルト質 (M)	---
	粘土質 (C)	—
	有機質 (O)	■
	火山灰質 (V)	■
	玉石混り (-B)	○
	砂利、礫混り (-G)	●
	砂混り (-S)	○
	シルト混り (-M)	---
	粘土混り (-C)	—
有機質土混り (-O)	■	
火山灰混り (-V)	■	
貝殻混り (-Sh)	○	

第3分類

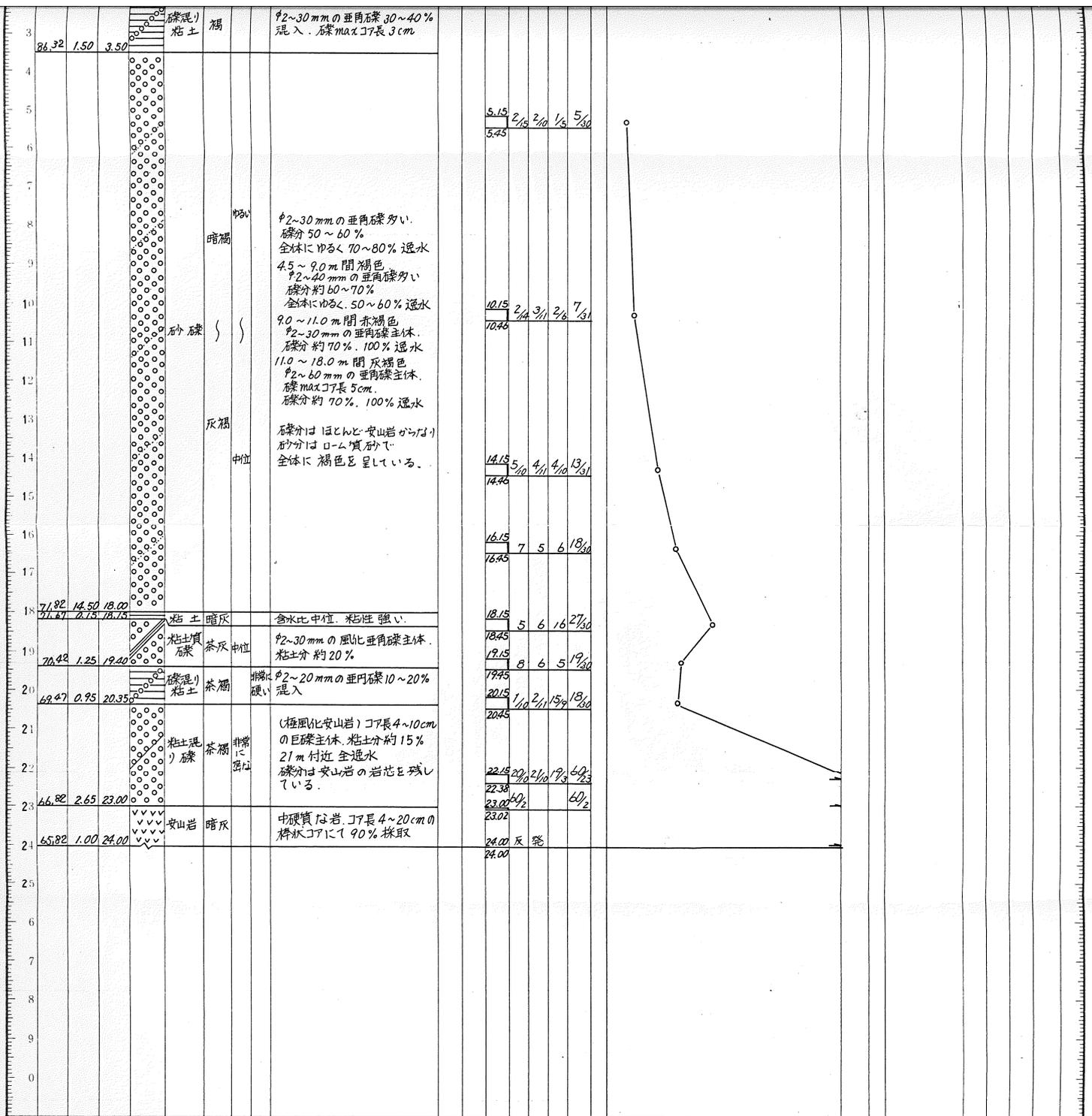
区分	分類名	図様
岩石	硬岩 (HR)	
	中硬岩 (MR)	
	軟岩、風化岩 (WR)	
特殊材料	玉石 (B)	○
	浮石 (軽石) (Pm)	△
特殊土	シラス (Si)	△
	スコリア (Sc)	▲
材料	火山灰 (VA)	△
	ローム (Lm)	△
表層	黒ボク (Kb)	■
	マサ (WG)	■
埋戻	土 (Ss)	■
	土 (Ff)	■
	廃棄物 (W)	■

試料採取方法

- ① シンウォールサンプラーによる
- ② デニソンサンプラーによる
- ③ 貫入試験器による
- ④ フォイルサンプラーによる
- ⑤ ( ) による

備考





〈凡例〉

柱状図および土質区分

第1分類			第2分類			第3分類			
区分	分類名	図模様	区分	分類名	図模様	区分	分類名	図模様	
土質材料	礫 (G)	○	補助記号	砂質 (S)		岩石材料	硬岩 (HR)		
	礫質土 (GF)	○		シルト質 (M)			中硬岩 (MR)		
	砂 (S)	●		粘土質 (C)			軟岩・風化岩 (WR)		
	砂質土 (SF)	●		有機質 (O)			土	土 (B)	○
	シルト (M)	---		火山灰質 (V)			浮石 (軽石) (Pm)	△	
	粘性土 (C)			玉石混り (-B)			特殊	シラス (S)	△
	有機質土 (O)			砂利・礫混り (-G)			土	スコリア (Sc)	▲
	火山灰質粘性土 (V)			砂混り (-S)			火山灰 (VA)	△	
	高有機質土 (腐植土) (PO)			シルト混り (-M)			埋	ローム (Lm)	△
				粘土混り (-C)			地	黒ボク (Kb)	△
		有機質土混り (-O)		地	マサ (WG)	△			
		火山灰混り (-V)		表	土 (Ss)	△			
		貝殻混り (-Sh)		埋	土 (FI)	△			
				地	廃棄物 (W)	△			

試料採取方法

- ① シンウォールサンブラーによる
- ② デニソンサンブラーによる
- ③ 貫入試験器による
- ④ フォイルサンブラーによる
- ⑤ ( )による

備考



